

## PC セキュリティサービスについて

### 「Security Z（セキュリティゼット）」とは

本サービスは、TOKAIコミュニケーションズ社を通してF-Secure社が提供する、総合セキュリティソリューションです。

「Security Z」は、マルチデバイス対応セキュリティソフト「SAFE」とパスワードマネージャー「KEY」で構成されます。

#### ■ご利用にあたって

- 「Security Z」をご利用いただくには、お申し込みが必要となります。なお、ご利用の前に必ずF-Secure社のF-SECURE®ライセンス約款をご確認ください。（[http://download.sp.f-secure.com/eula/latest/eula\\_jpn.html](http://download.sp.f-secure.com/eula/latest/eula_jpn.html)）
- 「Security Z」をご利用開始するには、当社が発行する「Security Z 登録確認書」記載の「申込ID」、「アクセスコード」及び「認証コード」を受信するための任意の「メールアドレス」が必要となります。
- 「Security Z」のインストール（「SAFE」、「KEY」は各々インストールする必要があります）、設定、ご利用方法については [http://www.thn.ne.jp/service\\_169/id=4688](http://www.thn.ne.jp/service_169/id=4688) をご確認ください。
- 1契約で、「SAFE」、「KEY」各々 6 ライセンスまでご利用いただけます。
- 1契約（6ライセンス）で、Windows、Mac、Android、iOS 端末を自由に組み合わせることができます。
- ライセンス（7ライセンス目以降）を追加する場合には別途申し込みが必要です。なお、手続きをいただいた追加申し込みに関しては翌月より加算請求をさせていただきます。
- 既に他のウイルス対策ソフトが入っている場合は、必ず事前にアンインストール（削除）してください。
- 新種のウイルスの場合、F-Secure社が対応するまで本サービスでは検知しない場合もあります。本サービスで、全てのウイルスの検知、駆除を保証するわけではありません。
- 本サービスを利用したことにより発生した、お客様または、第三者の損害につきましては、一切の補償・賠償はいたしません。
- 最新情報は、[https://www.f-secure.com/ja\\_JP/web/home\\_jp/safe](https://www.f-secure.com/ja_JP/web/home_jp/safe) にてご確認ください。
- ご利用開始後の不具合等のお問い合わせについては以下の「Security Z」テクニカルサポートセンターで承っております。

#### 「Security Z」テクニカルサポートセンター

電話番号：0120-828-208（通話料無料）

受付時間：10:00～18:00（年中無休）

#### 「SAFE」

マルチデバイス対応のセキュリティソフトです。Windows / Mac / Android / iOS に対応し、1ライセンスでPC、スマホなどの 6 端末に対応します。

ご利用デバイスOS毎の利用可能な機能は以下の通りです。

| 機能               | Windows | Mac | Android | iOS | 説明   |
|------------------|---------|-----|---------|-----|--|
| 1 リアルタイムウイルス対策   | ○       | ○   | ○       | -   | 自動で更新されるパターンファイルにより、リアルタイムでファイルがウイルスかどうか検査を行います。                 |
| 2 マニュアルスキャン      | ○       | ○   | ○       | -   | 任意のファイルやディレクトリに対し、ユーザの指示により検査を行います。                              |
| 3 スケジュールスキャン     | ○       | ○   | ○       | -   | ユーザが指定した日時で、全ディスクのフルスキャンを行います。                                   |
| 4 サンドボックス検査      | ○       | -   | -       | -   | ファイル実行前に安全な隔離空間でファイルの挙動を分析します。<br>パターンファイルが対応していない未知のウイルスを見つけます。 |
| 5 ファイルレピュテーション検査 | ○       | ○   | ○       | -   | リアルタイムに更新されるオンラインのデータベースを参照し、最新のウイルスを見つけます。                      |
| 6 振る舞い検知         | ○       | -   | -       | -   | 安全性が確認できていないプログラムの振る舞いを監視し、危険な挙動があれば動作を停止させます。                   |
| 7 ランサムウェア保護      | ○       | -   | -       | -   | 指定したフォルダに対して、ファイル暗号化などの不審な動作を検知して防                               |

|    |                |   |   |   |   |   |
|----|----------------|---|---|---|---|---|
|    |                |   |   |   |   | ぎます。  |
| 8  | Web トラフィックスキャン | ○ | - | - | - | Web からのファイルダウンロード時に、ウイルスが含まれていないか検査を行います。                             |
| 9  | 危険な URL への接続防止 | ○ | ○ | ○ | ○ | フィッシングサイトやウイルスをばら撒くサイトなど、危険なサイトへの接続が行われようとした際に、警告画面を表示します。            |
| 10 | 検索結果の安全性表示     | ○ | ○ | - | - | サーチエンジンで検索結果のリンクに、安全なサイトか危険なサイトかのアイコンを表示します。                          |
| 11 | バンキングプロテクション   | ○ | ○ | ○ | ○ | オンラインバンキングを安全に使用できるように、接続時の通信の保護を行います。                                |
| 12 | URL フィルタリング    | ○ | ○ | ○ | ○ | 閲覧可能な Web サイトのカテゴリを指定することができます。                                       |
| 13 | 利用時間の制限        | ○ | - | ○ | ○ | 一日にインターネットを利用できる時間帯や合計時間の制限を行います。<br>(ペアレンタルコントロール)                   |
| 14 | アプリの制限         | - | - | ○ | - | アプリごとに一日に利用可能な合計時間を制限できます。  |
| 15 | リモートコントロール     | ○ | - | ○ | ○ | ペアレンタルコントロールの設定を、Security Z SAFE ポータル上で遠隔設定する機能です。                    |
| 16 | ファインダー         | - | - | ○ | ○ | 端末紛失時などに、地図上に端末の位置を表示したり、アラームを鳴らしたりすることができます。                         |
| 17 | ゲームモード         | ○ | - | - | - | ゲームモードを使用すると Security Z SAFE が使用しているシステムリソースを開放して、ゲームを快適に実行できるようにします。 |

## 「KEY」

マルチデバイス対応の利用者の全てのパスワードと暗証番号を安全に管理可能なパスワードマネージャーです。

ご利用デバイスOS毎の利用可能な機能は以下の通りです。

| 機能               | Windows | Mac | Android | iOS | 説明  |
|------------------|---------|-----|---------|-----|---|
| 1 パスワードの保管       | ○       | ○   | ○       | ○   | パスワード、ログイン情報、メールアドレス、暗証番号、クレジットカードや銀行の認証情報を安全に保管します。そのため、いくつも覚えておく必要がなくなるので、パスワードを使い回す必要がなくなり、安全に管理できます。                                    |
| 2 パスワードの作成       | ○       | ○   | ○       | ○   | 簡単で、推測されやすいパスワードなどによる不正なログイン被害を予防できます。数種類のパスワードを使いまわす、新しいパスワードが思いつかないなどの心配がありません。また、自動生成したパスワードを複数覚える必要はなく、アプリのパスワードひとつで管理できます。             |
| 3 パスワードの自動入力     | ○       | ○   | ○       | ○   | Windows、Mac など PC の Web ブラウザで、サービスサイトなどのログインを行うとき、パスワードを自動入力（オートフィル）を設定することができます。オートフィルを設定しておく、パスワード入力の手間を省き、簡単にスムーズなログインを行うことができます。        |
| 4 マルチデバイス管理      | ○       | ○   | ○       | ○   | 複数台でパスワードを共有できるので、どのデバイスを使用しても同じマスターパスワードマネージャーでご利用できます。すべてのデバイスを通してパスワードをリアルタイムで安全に同期でき、覚える必要があるのはマスターパスワードだけです。KEY が他のパスワードをすべて代わりに保存します。 |
| 5 クレジットカード認証情報保存 | ○       | ○   | ○       | ○   | ネットショッピングなどに利用するクレジットカード認証情報もわかりやすい形式で安全に登録できます。オンラインでの買い物のたびにクレジット情報を入   |

|   |               |   |   |   |                                  |  |
|---|---------------|---|---|---|----------------------------------|--|
|   |               |   |   |   | かしなくても、ネットでの決済をより早く簡単に行うことができます。 |  |
| 6 | ロック           | ○ | ○ | ○ | ○                                | アプリをロックします。再び使用する場合はマスターパスワードでのログインが必要です。                      |
| 7 | Touch ID ログイン | - | - | - | ○                                | デバイスが Touch ID に対応していればマスターパスワードの代わりに Touch ID でログインすることができます。 |
| 8 | システムオートフィル    | ○ | ○ | - | -                                | コンピュータ内のプログラムに対して KEY に保存されているユーザ名とパスワードが自動入力されます。             |
| 9 | ブラウザオートフィル    | ○ | ○ | ○ | ○                                | Web サイトに対して KEY に保存されているユーザ名とパスワードが自動入力されます。(Chrome/firefox)   |

■動作環境について

「Security Z」の主なシステム動作環境については、<https://securityz.jp/help/platform.html> をご確認ください。